

平成30年度 地域産業スペシャリスト育成推進会議 資料

- 1 日 時 平成30年 6 月 2 1 日 (木) 16:00～17:00
- 2 会 場 松山工業高等学校 大会議室 (別紙)
- 3 目 的 インターンシップ・匠の技教室・企業見学などの実施状況を確認し、意見交換をすることで本年度の事業に生かす。
- 4 会次第
 - (1) 開会あいさつ
 - (2) 出席者紹介
 - (3) 事業内容の説明
 - (4) 意見交換

5 参加者

(株)井関松山製造所	常務取締役 生産技術部長	黒川 浩明 様
(株)伊予鉄グループ	総務部 人事課長	松崎 秀 様
愛媛県中小企業団体中央会	産業支援課 課長	伊藤 保史 様
三浦工業(株)	人財開発部 部長代理	山内 俊一 様
(株)大阪ソーダ松山工場	事務課長	木村 晃 様
(一社)愛媛県空調衛生設備業協会	会長	土居 仁 様
(一社)愛媛県測量設計業協会	理事	武智 秀樹 様
(一社)愛媛県建設業協会	主事	福田 一夫 様
愛媛基礎工事業協同組合	代表理事	田中 清久 様
愛媛県電気工事工業組合	理事	藤家 隆司 様
松山市役所 地域経済課	課長	宇野 哲朗 様
松山市役所 地域経済課	主事	日高 真幸 様
(株)建通新聞社	四国支社愛媛支局 支局長	小澤 和裕 様

本校関係者

校 長	内藤 善文	建築科長	小山田真也
教 頭	神山 克彦	土木科長	二宮 昌乃
機械科長	藤原 昭宏	繊維科長	末光 哲郎
電子機械科長	乗松 治	進路指導課長	清水 浩
電気科長	矢野 尚	工業教育推進課長	石丸 泰昌
情報電子科長	穴山 栄治	司会進行	若田 純
工業化学科長	米田 晃	記 録	今井 靖

6 地域産業スペシャリスト育成事業

工業科設置校 6 校（新居浜工業、東予、今治工業、松山工業、八幡浜工業、吉田）

(1) 企業技術者等による「匠の技教室」や講演

企業技術者等を学校に招へいし、実技指導や講演を実施していただき、実践的な技能を学ぶとともに、仕事に取り組む姿勢などを身に付ける。

(2) デュアルシステム

地元企業で週 1 回程度の就業体験を継続的に行うことにより、生徒の実践力の向上や勤労観・職業観の育成を図る。

(3) 企業と工業高校生によるマッチングフェア（平成 30 年 12 月 6 日（木））

企業ごとにブースを設け、生徒が興味のある企業の説明を受けることで、地元企業とのマッチングを推進し、地域を担うことができる工業技術者の育成を図る。

対象：2 学年生徒（約 320 名）

参加企業：約 20 社

(4) インターンシップ

平成 30 年 10 月 15 日（月）～19 日（金） 対象：2 学年

(5) 校内成果発表会

平成 31 年年 2 月 21 日（木）14:50 ～ 15:40

（スペシャリスト育成推進会議につなげます。）

参加者：全校生徒、教職員、企業関係者

会 場：本校 第 1 体育館

(6) スペシャリスト育成推進会議

第 1 回 平成 30 年 6 月 21 日（木）16:00 ～ 17:00

第 2 回 平成 31 年 2 月 21 日（木）16:00 ～ 17:00

（校内成果発表会の後に開催します。）

(7) ものづくり研究開発

企業・大学と連携した研究を実施

「レーザー加工機を活用したものづくりの研究」 対象：機械科・情報電子科

(8) 体験型企業研修（見学）

平成30年度 進路個人調査		()女子内数										平成30年6月1日現在								
項目 学科	卒業予定者	就職希望者	進学希望者					その他・未定	就職希望者											
			四年制大学	短期大学	高専	専門学校	未定その他		学校推薦就職希望地域										縁故・自営	公務員
									県外						県内	未定				
									関東	中部	近畿	中国	四国	その他						
機 械	41	32	3			5		1	4	1	6	5	1		9	6				
電子機械	39 (1)	25 (1)	6			6	2		1	8	1	1		1	8	4 (1)	1			
電 気	40	37	3						9	4	5	1	2	1	12	3				
情報電子	38 (5)	13 (5)	12		3	8	2		4						7 (4)	2 (1)				
工業化学	39 (4)	30 (4)	8					1	3 (1)	2	2		1		15 (2)	5		2 (1)		
建 築	40 (16)	21 (9)	13 (2)			6 (5)			1 (1)	1	3 (2)				7 (3)	7 (2)		2 (1)		
土 木	40	29	6			5			6		3		4		12		1	3		
織 維	38 (35)	29 (26)	1 (1)	3 (3)		5 (5)				1		3 (3)	2 (2)	1 (1)	22 (20)					
合 計	315 (61)	216 (45)	52 (3)	3 (3)	3	35 (10)	4	2	28 (2)	17	20 (2)	10 (3)	10 (2)	3 (1)	92 (29)	27 (4)	2	7 (2)		
割合%	100.0%	68.6%	30.8%					0.6%	40.7%						42.6%	12.5%	0.9%	3.2%		

「地域産業スペシャリスト育成推進会議」座席表

スクリーン
○ 発表者

(株)井関松山製造所 常務取締役 生産技術部長 黒川 浩明 様				校 長 内藤 善文
(株)伊予鉄グループ 総務部 人事課長 松崎 秀 様				教 頭 神山 克彦
愛媛県中小企業 団体中央会 産業支援課 課長 伊藤 保史 様				機械科長 藤原 昭宏
三浦工業(株) 人財開発部 部長代理 山内 俊一 様				電子機械科長 乗松 治
(株)大阪ソーダ 松山工場 事務課長 木村 晃 様				電気科長 矢野 尚
(一社)愛媛県 空調衛生設備業協会 会長 土居 仁 様				情報電子科長 穴山 栄治
(一社)愛媛県 測量設計業協会 理事 武智 秀樹 様				工業化学科長 米田 晃
(一社)愛媛県 建設業協会 主事 福田 一夫 様				建築科長 小山田真也
愛媛基礎工事業 協同組合 代表理事 田中 清久 様				土木科長 二宮 昌乃
愛媛県電気工事 工業組合 理事 藤家 隆司 様				繊維科長 末光 哲郎
	松山市 地域経済課 課長 宇野 哲朗 様	松山市 地域経済課 主事 日高 真幸 様	(株)建通新聞社 愛媛支局長 小澤 和裕 様	進路指導課長 清水 浩
				工業教育推進課長 石丸 泰昌
				記 録 今井 靖
				司会進行 若田 純

入り口

平成 29 年度 地域産業スペシャリスト育成推進会議 記録

日 時	平成 30 年 2 月 5 日 (金) 15:50~16:50
場 所	松山工業高校 大会議室

1 開会挨拶 (内藤校長)

第 1 回目の会の時に皆様に非常に前向きなご提案をいただきました。提案や質問いただきました内容を本校もしっかり受け止め検討し、本日はお答えをしようということで準備をしております。より良い会にしていくためにも忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。

2 事業の実践報告

3 校外参加者からの助言・提案など

(株)アテックス:

私どもはデュアルシステムや企業見学に協力させていただいていますが、これ以上何かをしなければならぬとは思ひません。それよりも今の活動を継続していただくことが大切なのではないかと思ひます。

(株)井関松山製造所

かなりの活動をされており、これを継続していくことが大切だと思ひます。そして、活動が形骸化せず、生徒たち自身が経験し、考えるという状態を続けてほしいと思ひます。また、中学生の体験入学やものづくりの大会など、私たちが参考になるところがありました。校内発表の中で発表者自身の言葉も欲しかったと思ひます。

三浦工業(株)

県外企業に負けないように工場見学などで PR していかなければならぬと思ひました。また、学生に注目していただくように、企業として磨いていかなければならぬ所があると思ひました。この事業は今後も続けていただきたいと思ひます。

(株)大阪ソーダ 松山工場

会社の立場で言わせていただくと、好景気・不景気があり、場合によってはお断りする場合もあるということをご理解願ひたいと思ひます。私どもの会社は化学の原料メーカーであり、工業化学科の生徒さんに協力をいただき、インターンシップや企業見学などに来ていただいています。私どもは学力よりも「地頭」と呼んでいる「考える力」を教育していただきたいと期待しております。今後は自分で目標を設定し、自分をコントロールすることが大切だと思ひております。

(一社) 愛媛県空調衛生設備業協会

私どもの協会は今年マッチングフェア、出前授業でご協力をいただきました。建築科の出前事業の時にアンケートを取らせていただきました。40名のうち県外で働きたいという方が半分以上を占めました。将来は県内に帰ってきたいという人が17名おり、うれしく思いました。先般の理事会で話に出たのですが、多くの科の皆様に、私たちの仕事の内容を知っていただきたい。今後PRをし、私どもの仕事を理解していただきたいと思っております。

(一社) 愛媛県測量設計業協会

日頃から私どもは協会としてマッチングフェア、測量実習などで生徒さんのお相手をさせていただいており、皆さん熱心に活動されていると思います。今後も要望があれば対応していきたいと思っております。私どもの協会では土木というイメージがあり、土木科からの就職が多いのですが、土木科以外でも設計アシスタントということでCADによる図面作成などで女性の方も必要としております。就職の際には考慮に入れていただきたいと思っております。

(一社) 愛媛県建設業協会

私どもは土木・建築科の協力で工事現場見学会、インターンシップ、マッチングフェアに参加させていただきました。参加した企業からもよい評価を得ています。企業にアンケートを取りましたが、参加いただいた生徒さんにぜひ就職してほしいという意見も数社ありました。就職活動についての質問になりますが、求人情報の仕入れ方について教えていただきたい。

回答(進路指導課長)

3年生の就職活動終了後、2年生にその年の求人票を公開し、各自が見て就職先について考えさせるようにしています。受験希望先は7月より三者面談等を行いながら決定しています。多くは各企業の方がハローワークを通じて本校へ求人に来ていただいております。

愛媛基礎工事業協同組合

お願いなのですが、もう少し自由度の高い就職支援を行っていただくことはできないでしょうか。インターンシップ等では日が決まっているので、もっと企業のことを知ってもらうという意味で、生徒の希望があった場合には日程を限定せず、企業の都合がつかう場合にはいつでも訪問ができるような環境にしてほしいと思います。私たちのような会社であれば5時以降にして頂ければありがたいです。

愛媛県電気工事工業組合

組合員の中にも温度差はあるのですが、多くの者が電気工事に携わる人を育てていかなければならないと思っており、このような機会を通じて皆さんと関係を持てることをうれしく思っています。学校では電気工事一種・二種を取得させていただき、マッチングフェアなどを通じて将来を決定し、ぜひ県内に残っていただきたいと思っております。

松山市地域経済課

松山市も人口減少が進み労働力人口も減っていくことが予想されます。そのような中、企業の皆様にとっても県内に一人でも多く就職していただけるということ及び、離職を防止するということが大切だと思っています。この様な取り組みを続けていただくことで、より多くの方が県内に残っていただけるようになれば良いと思います。質問ですが、離職防止のために離職調査は何年くらいやっているのでしょうか。

回答(進路指導課長)

離職調査は卒業後3年間行います。毎年2月中旬頃に各企業へ送付し調査を行い、3月頃に結果が出ます。

株建通新聞社

本日の発表会大変すばらしかったと思います。社会に出ると色々な知識を会社の内外でアウトプットすることが増えます。高校生の時からこのような場があり、社会へ出るまでの間に訓練できることはとても良い機会だと思います。

4 閉会挨拶(内藤校長)

心に残ったことをお話しさせていただきます。まず、地頭のことですが、生徒たちに難しい問題を与え、頭の訓練を行うことを考えております。松山工業高校ではアイデアあふれる子供を育てようということで、夏休み前に弁理士の先生を呼び、夏休みに身の回りを便利にするアイデアを課題に出し、文科省主催の Patent コンテストに応募しました。今後人材確保をしていくためには、いかに女子生徒を取り込むかということが大切だと思います。5時以降の企業見学ですが、希望する生徒からの申し出があった時点で考えたいと思います。大手の会社が県内に来ていただければ生徒たちが県外に出る必要がなくなります。ぜひ子供たちの働く場所を確保していただきたいと思います。離職率が成果の指標になるという話がありました。工業高校では成功しており、キャリア教育のおかげか、離職率は低く抑えられています。松山工業高校は地元で愛される学校でありたいと思いますので、今後とも末永いおつきあいをよろしくお願いします。